

平成 24 年 11 月 2 日

各 位

会社名 株式会社新日本建物  
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員  
 池田友彦  
 (JASDAQ・コード番号: 8893)  
 問合せ先 取締役兼執行役員 管理本部長兼経営企画部長  
 佐藤啓明  
 (TEL. (03) 5962-0775)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 8 月 6 日付「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました平成 25 年 3 月期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

##### (1) 修正の内容

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	7,940	380	190	180	1 円 81 銭
今回修正予想 (B)	3,860	110	38	35	0 円 35 銭
増減額 (B-A)	△4,080	△270	△152	△145	—
増減率 (%)	△51.4	△71.1	△80.0	△80.6	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	6,934	350	219	218	2 円 19 銭

##### (2) 修正の理由

売上高の主な減少要因は、流動化事業において事業用地取得競争が激化した影響を受け、第 2 四半期までに引渡し可能な優良物件の仕入れが計画に比して遅れたことや一部物件の販売が第 3 四半期以降にずれ込んだことにより、流動化事業が 27 億 80 百万円減少いたしました。また、マンション販売事業で 27 戸の販売・引渡し、戸建販売事業で 9 棟の販売・引渡しがそれぞれ第 3 四半期以降にずれ込んだことにより、マンション販売事業が 9 億 70 百万円、戸建販売事業が 3 億円減少することなどにより、売上高が 40 億 80 百万円減少する見通しであります。

利益面につきましては、マンション販売事業の一部物件において広告宣伝費の圧縮によって計画値を上回る利益率を達成したほか、一般管理費の継続的なコスト削減に取り組みましたが、上述の売上高の減少に伴う売上総利益の減少を吸収するに至らなかったことから、営業利益が 2 億 70 百万円減少する見通しであります。また、経常利益、四半期純利益は、事業用地の仕入れが計画に比して遅れたことにより、支払利息が少なく推移したことから、経常利益が 1 億 52 百万円、四半期純利益が 1 億 45 百万円それぞれ減少する見通しであります。

2. 平成 25 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

(1) 修正の内容

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,580	880	470	460	4 円 62 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	12,280	540	410	400	4 円 02 銭
増 減 額 (B - A)	△5,300	△340	△60	△60	—
増 減 率 (%)	△30.1	△38.6	△12.8	△13.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	13,781	734	460	444	4 円 47 銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、第 2 四半期累計期間における修正を反映し、更に引き続き事業用地の厳しい仕入競争が続くことが見込まれることから下期を修正しております。

利益面につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少を見込んでおります。一方、戸建販売事業において前回計画を上回る利益率を確保できる見込みであることに加え、支払手数料等の一般管理費や支払利息が減少する見込みであることなどから、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ修正することといたしました。

(注) 本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上